

【 第2回中標津町自治推進会議報告 】

日時：平成25年8月2日（金） 19：00～21：10

場所：中標津町役場 3階 301号会議室

出席者：15名（中標津町自治推進会議委員8名、ファシリテーター1名、
アドバイザー2名、事務局4名）

<会議次第>

- 1 開 会
- 2 部長挨拶
- 3 会長挨拶
- 4 議 題 （進行：東田ファシリテーター）
 - （1）グループワーク
 - （2）その他
- 5 副会長挨拶
- 6 閉会

<配布資料>

資料1 H24～H27 自治推進会議スケジュール（予定）

資料2 自治推進会議スケジュール

川崎市自治推進委員会報告書（資料添付省略）

中標津町自治基本条例検証シート（資料添付省略）

数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況（資料添付省略）

<会議結果報告>

- 1 開会
- 2 部長挨拶
矢本部長より挨拶。
- 3 会長挨拶
西根会長より挨拶。
- 4 議題<進行：東田ファシリテーター>
 - （1）グループワーク

[会長挨拶]



- 先行事例について説明。

⇒ ワーキンググループより説明（[川崎市自治推進委員会報告書](#)）

- グループワーク

⇒ 全員で協議。（[中標津町自治基本条例検証シート、数字で見る中標津町自治基本条例の運用状況](#)）

- ・ 委員からの意見の整理が必要→事務局にて行う。
- ・ 意見には要望、提案、改善等様々な種類があるが、その種類にこだわらずあらゆる意見を出すやり方とする。
- ・ 今回の自治推進会議の意見として以下の3点があげられた。
 - ① 情報発信はなされているが、町民の声を受ける仕組みがもう少しほしい。
 - ② 行政が行う会議について、公開されているのか非公開なのか、町民にわかるように整備してほしい。
 - ③ 行政内部での情報共有を推進する必要がある。

[会議風景]



(2) その他

アドバイザーの先生方より講評をいただいた。

○ 酒井先生

- ・ 個々の事例にこだわりすぎず、条文を振り返ってみることが大切。
- ・ 行政に対する要望や不満の意見が多かった。
- ・ 町内会の部分の議論について、市街地と農村地の違いを視点として取り入れては。
- ・ 災害の部分について、住民の中からファシリテーターを養成するというのはどうか。
- ・ 次回に向けて、事務局でしっかり資料をまとめておく必要がある。

○ 平岡先生

- ・ 町内会についての意見はあったが、町民活動団体についてがなかったので、そちらも考えてみてほしい。
- ・ 町内会と町民活動団体との連携による取組も検討してはどうか。
- ・ 行政に対する意見や要望が多かったが、住民自身がまちづくりに対してどのような役割を担うのかについても考えてみては。
- ・ 条文からいったん離れて、まちづくりの方向性や中標津町の将来像など、大きな視点もおりまぜながら個別事例について議論してはどうか。

スケジュールの確認⇒ [\(資料1、2 P3～4\)](#)

- 次回会議までに、委員から出た意見を事務局にて整理。
- 新たな意見がある委員は、8月20日までに事務局へ提出。(様式自由。郵送、FAX、E-mail、持参等)

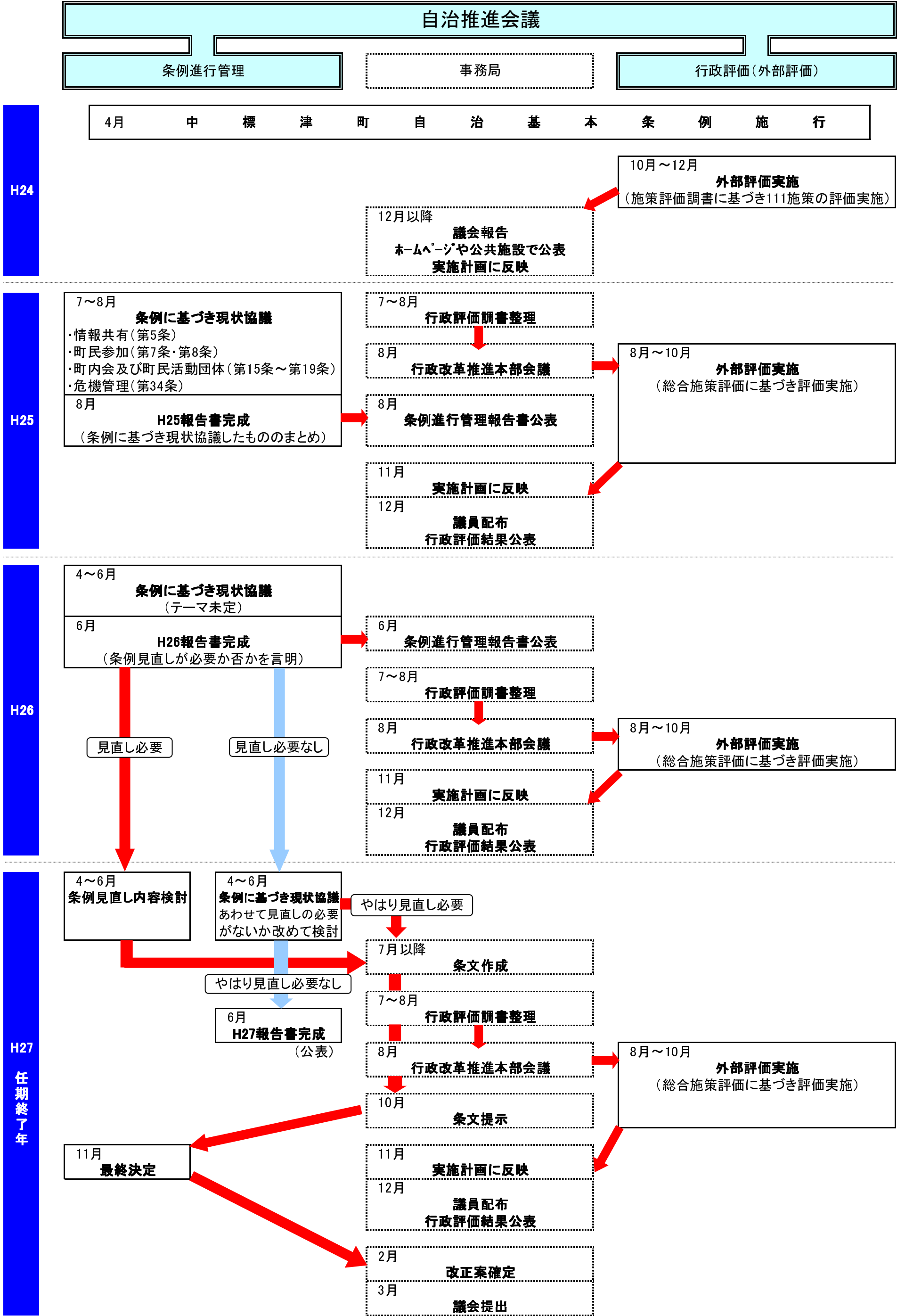
5 副会長挨拶

小野副会長より挨拶

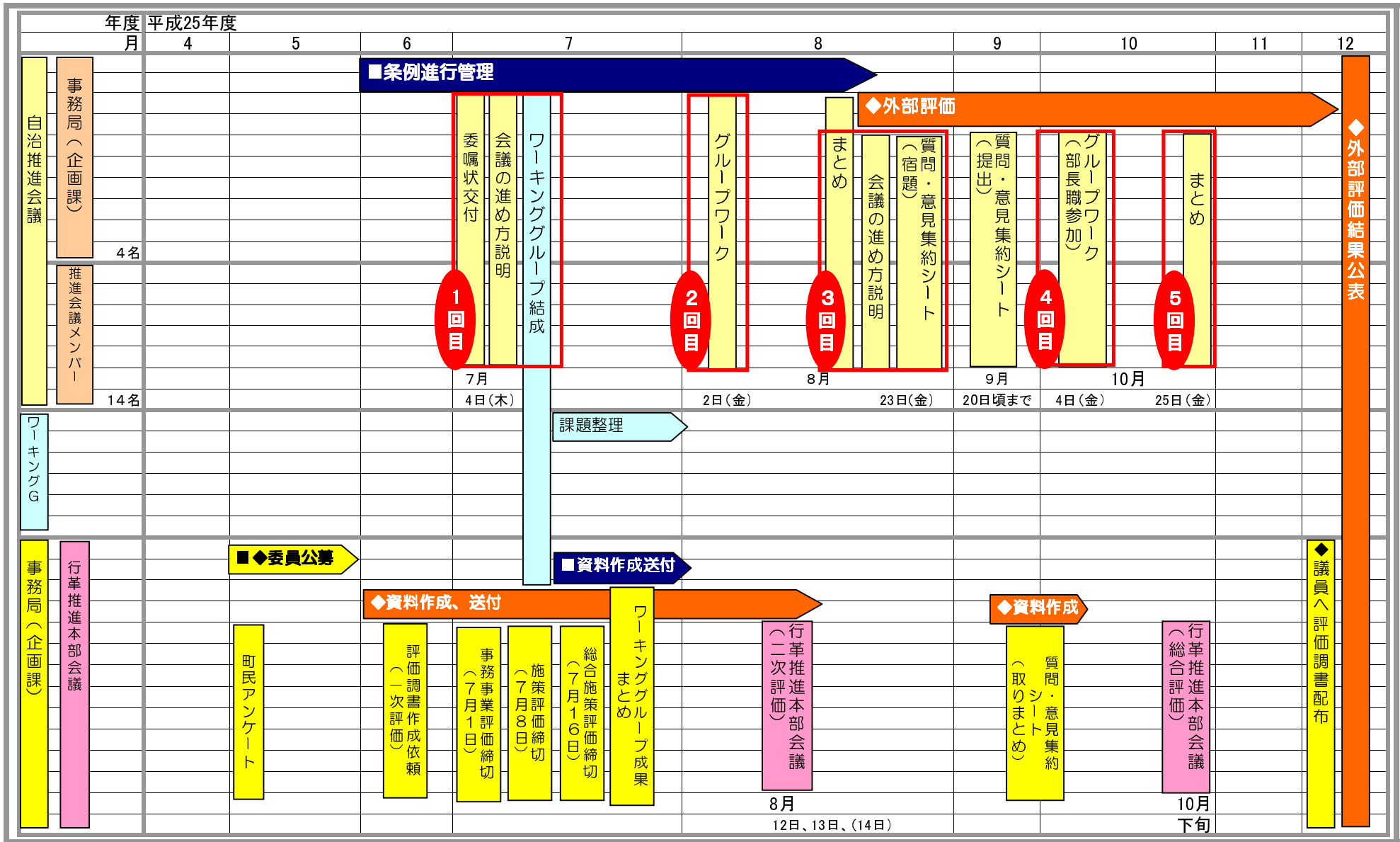
6 閉 会

次回の自治推進会議日程

- 第3回 平成25年8月23日(金)
19:00～ 役場301号会議室



自治推進会議スケジュール



- → 条例進行管理に関すること
- ◆ → 外部評価に関すること